

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立荻田北小	学校	児童数	56
----------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.86	19.95	34.29	43.62	50.76	9.37	149.14	22.05	55.00
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.70	20.85	38.55	40.77	34.34	9.69	144.58	16.71	56.64
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

- ・体力合計点の対全国比は、男子 2.47ポイント 女子 2.72ポイントとどちらも全国平均を上回っている。
- ・質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」において「好き」と回答した児童の割合は、男子は77.3%で全国平均より4.3ポイント高く、女子は68.8%で14ポイント高い。
- ・質問項目「1週間の総合運動時間」において運動時間60分未満と回答した児童男子は20%、女子が9.4%であった。分布図を見ると男子児童は420分以上の児童の割合が低い。女子児童は全国より総運動時間が多いことがわかる。男女とも全国比や総運動時間をみると、一定の運動習慣や技能が身についていることがわかる。
- ・男子は、「握力」「立ち幅跳び」以外の6項目で全国・大阪市の平均を上回った。
- ・女子は、「握力」「シャトルラン」以外の6項目で全国平均・大阪市平均を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は週1回中学校体育教員が指導に来たり、体力テストに向けて学年でスキルの向上を図った。また昨年度の結果を見せたり、いつどの項目をするのか告知しそれぞれの意欲を高めたことが好結果につながったと考えられる。

また、昨年度運動時間が少ない、運動が好きな児童が少ないと考え、今年度は運動機会を確保し、自身の伸びを感じることで意欲につなげたいと考え実践した。なわとび週間を計画的に実施し、昨年度の結果に向けて挑戦したり、20mシャトルランを年2回記録し、一回目の記録に挑戦したりと体力向上に重点的に取り組んだ。これらの実践で意欲は向上し、体力向上につながったと考えられるが結果が記録に現れるのは来年度以降であると考えている。来年度も、スキルの習得、運動の機会を確保し、自身の伸びを感じることで意欲につなげる取組を工夫していく。

種目別にみると今年度は握力が男女とも全国や大阪市の平均を下回っていたため、来年度は基礎体力の底上げも視野に入れ、運動技能の向上をねらい、今年度の取り組みを継続する。